

取扱説明書

品質保証書付き

オムロン 婦人用電子体温計
MC-652LC 口中用
医療機器認証番号：223AGBZX00261A01

All for Healthcare

オムロン製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

より便利にお使いいただくために、はじめに「スタートアップガイド」をお読みください。
■ 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
本書は、いつもお手元においてご使用ください。
本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。
※本書に記載しているイラストはイメージ図です。

ホームページ <https://www.healthcare.omron.co.jp/>
※通信料はお客様ご負担となります。
(別途料金は、インターネットでお求めいただけます。)

製造販売元 オムロンヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地

5344818-OH

次のものが入っていますか？

1. 本体
2. 試し用電池（本体に内蔵）
3. スタートアップガイド
4. 取扱説明書（本書：品質保証書付き）
※品質保証書は裏面についています。
紛失しないようにしてください。
5. 医療機器添付文書・EMC技術資料

この体温計の使い方

1 「OMRON connect」
アプリに登録する
■「スタートアップガイド」
を参照してください。



Bluetooth通信
※ 登録しなくともお使いいただけますが
基礎体温のデータは記録されません。

2 基礎体温を測る
(4ページ)



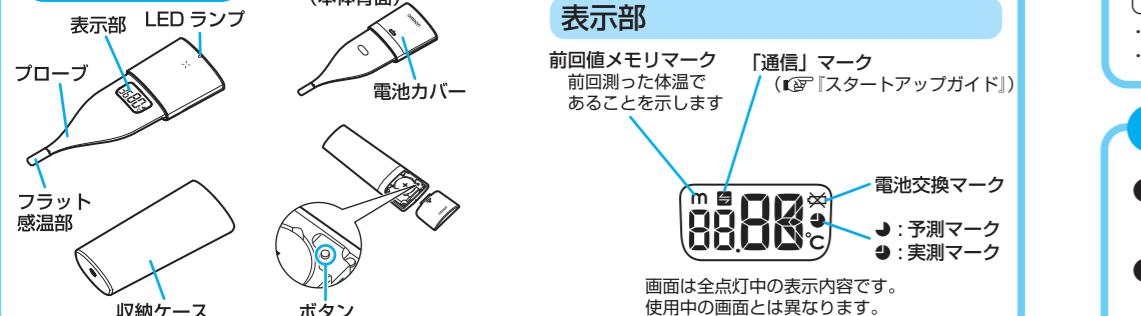
■ 毎朝1回、基礎体温を測る
舌下で検温します。1日のうち最初の測定値が自動的に記録されます。

3 測定値を見る
(4ページ)



■ 本体を見る
■ データ転送して「OMRON connect」
アプリで見る

各部の名前



安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようにになっています。

■ 警告、注意について

- ▲ 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
- ▲ 注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。
- *物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

▲ 警告

測定中に体温計の近く(30cm以内)で携帯電話やスマートフォンを使わないでください。
病原菌に感染する原因になります。
本製品は口中用の体温計です。それ以外(わきや耳など)で検温しないでください。
乳幼児の手の届かないところに保管してください。
また、お子様だけでのご使用はさせてください。
自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。
電池や電池カバーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。
乳幼児が電池や電池カバーを飲み込む恐れがあります。
飲み込んだときは、すぐ医師の治療を受けてください。
病院内や航空機内など電波の使用が制限されている環境下では Bluetooth 通信を OFF にしてください。
検温結果の自己診断や治療はしないでください。
医師の指導に従ってください。
自己診断は、病気が悪化する原因になります。
人の検温以外に使用しないでください。
動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。
医療機器(ベースメーカーなど)の装着部位から22cm以内に近づけないでください。

▲ 注意

指定の電池を使ってください。
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。
電池の+/-極を正しく入れてください。
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。
本体を収納ケースに入れる際は、本体の向きが正しいことを確認してください。
無理にいれようとすると、本体や収納ケースが破損して、けがの原因になります。
本体は防水ではありません。本体内部に水などが入らないようにしてください。
測定値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
周囲温度が10~40°Cのところに、1分以上おいてから使用してください。
測定値に誤差が生じる原因になります。
長期間(3ヵ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
漏液、発熱、破裂などを起こし、機器を破損させる恐れがあります。

データ転送について

- ・本製品は電波法に基づく工事設計認証を受けた2.4GHz帯小電力データ通信システムの無線設備です。
- ・本製品を改造、分解、本体記載の認証番号を消さないでください。電波法に抵触する恐れがあります。
- ・本製品を本製品と同じ周波数を使用した無線LAN、電子レンジ、無線機器などの周辺でご使用になりますと、本製品との間で電波干渉が発生する可能性があります。電波干渉が発生した場合、使用しない機器を停止するか、本製品の使用場所を変えるなど電波干渉の生じない環境でご使用ください。
- ・電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受する事も考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。
- ・本製品は日本国内専用です。日本国外で使用しないでください。日本国外で使用されると、その国の電波法に抵触する恐れがあります。
- ・スマートフォンの取扱説明書をよく読んでから使用してください。故障の原因になります。
- ・通信中に本体の電池を交換しないでください。故障やデータ破損の原因になります。

2 基礎体温を測る

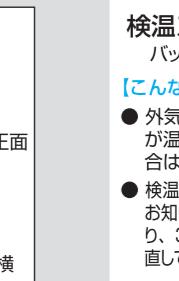
- 1 本体を収納ケースから取り出す



表示部が全点灯
バックライト点灯

前回測った体温が表示される
●前回予測検温値
●前回実測検温値

- 2 「L」が表示されたら、感温部を舌下のつけ根にあて、口を閉じる



3 約10秒後にブザーが鳴ると、予測検温が終了する

OMRON connectをご利用の場合は、1日のうち最初の測定値を基礎体温として自動的に記録されます。その記録された測定から3分以内に再び測定を行った場合は、最新の測定値が記録されます。

【こんなときは】
予測エラーが表示されるときがあります。
裏面「おかしいな?と思ったら」を参照してください。

実測検温をする場合

※より厳密な検温が必要な場合は、実測検温をおすすめします。

- 3 の予測検温が終わっても、そのまま舌下にあて続けてください。

予測検温開始から、約3分後に実測検温値表示に切り替わります。切り替わった直後に表示される検温値は、予測検温結果より少し下がります。

約5分後にブザーが鳴ると、実測検温終了です。

- 3 測定値を見る

■本体で検温結果を確認し、収納ケースに入れてください。
※収納ケースに入れずに保管すると、電源が入ったままの状態になりますので電池寿命が短くなります。

■測定値をデータ転送してアプリで確認します。

データ転送方法は、「スタートアップガイド」を参照してください。
収納ケースに入れるとLEDランプが点滅し通信待機状態になります。

使い方

- 1 「OMRON connect」アプリに登録する

この体温計は、「OMRON connect」アプリに登録することで、体温計の設定(アラーム、ブザー音、バックライト)や測定記録の管理がおこなえ、ほかのアプリやサービスとデータ連携することができます。

「OMRON connect」アプリへの登録方法は、「スタートアップガイド」を参照してください。

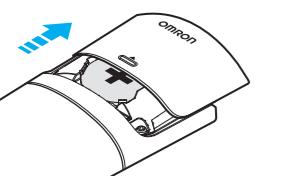
電池の寿命と交換

電池交換マークが表示されたら電池を交換してください。
使用電池：リチウム電池 CR2032 1個
付属の電池はお試し用です。早めに寿命が切れることができます。
使用推奨期限の過ぎた電池を使わない。

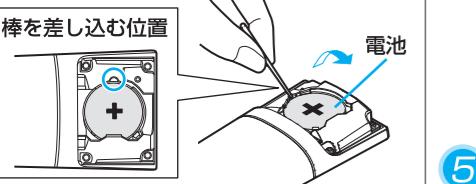
- 点滅：電池残量が少なくなっています。
- 点灯：電池残量がなくなりました。測定できません。

交換のしかた

- 1 本体背面の▲を矢印の方向に押しながらスライドさせて、電池カバーを外す

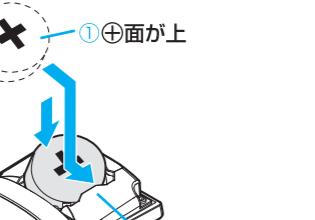


- 2 つまようじ等の細くて折れにくい棒で電池を取り出す

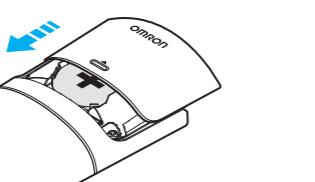


*電池が飛び出しがありますので、注意してください。

- 3 電池を(+)を上にして、図のように入れる



- 4 電池カバーを元どおりに取り付ける



- 5 アプリをご利用の場合、データ転送して日付と時刻を設定する

Bluetooth通信をOFFにする方法

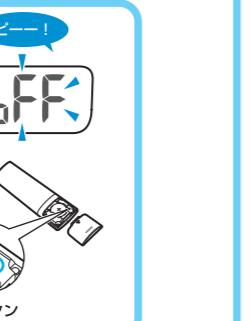
体温計の電池カバーを外し、ボタンを5秒間押してください。

Bluetooth通信をOFFにすると体温計の表示が図のように変わります。

重要 下記のような無線機器の使用が禁止された区域では、本体のBluetooth通信をOFFにしてください。

- ・航空機に乗るとき
- ・病院にいるとき
- ・日本国外にいるとき

スマートフォンとの設定を解除したい場合もBluetooth通信をOFFにしてください。



お手入れと保管

体温計は、口中で測定するためいつも清潔にお手入れしてください。

- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、やわらかい布を水またはぬるま湯に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。
- アルコールを使って汚れを拭き取る場合、表示部にかからないようにしてください。
- 次のことを守ってください。故障の原因になります。
 - 汚れ落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
 - 本体は、防水ではありません。本体内部に、水などが入らないように注意してください。
 - 体温計の感温部を、アルコールに浸したり、熱湯(50°Cを超える湯)で消毒しないでください。
 - 超音波洗浄をしないでください。
 - 水気が付いたままで収納ケースに入れないでください。必ず、乾いた布で拭き取ってください。

体温計は、収納ケースに入れて保管してください。

- 収納ケースに磁気テープ、磁気カード、フロッピーディスク等を近づけないでください。内蔵されている磁石の影響で磁気記録された内容が損なわれる原因となります。
- 次のようなどころには保管しないでください。故障の原因になります。
 - 水のかかるところ。
 - 高温・多湿、直射日光、ほこり、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ、暖房器具のそば。
 - 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

おかしいな？と思ったら

■ 検温値が高い。

ここを確認する	処置のしかた
飲食したり、起きあがつてしまふ。	起床直後、何もしない状態で測ってください。

* 検温結果が42°Cを超える場合は、「H」表示となります。

■ 検温値が低い。

ここを確認する	処置のしかた
口中が冷えていませんか。	口をしばらく閉じて温めてから検温してください。
連続して検温していませんか。	一度収納ケースに入れて電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、もう一度検温してください。

* 検温結果が32°C未満の場合は、「L」表示となります。

■ 検温値がばらつく。

ここを確認する	処置のしかた
下記のように測つていませんか。 ● 体温計が動いて、感温部がずれた。 ● 感温部をあてるポイントが測るごとに違う。 ● 検温中に口を開けた。	「基礎体温を正しく測るために」「体温計の正しいあてかた」を確認してください。

■ 検温準備完了時に「L」表示が出ない。

ここを確認する	処置のしかた
感温部の温度が32°C未満のときに「L」表示します。 32°C以上の場合は実際の温度を表示します。	32°C以上の場合は実際の温度を表示します。

■ 何も表示しない。

ここを確認する	処置のしかた
電池の①②の向きが間違つていませんか。	電池を正しく入れ直してください。
● 電池が消耗していませんか。 ● 表示部に「X」が表示されませんでしたか。	新しい電池(CR2032)1個と交換してください。

■ エラー表示が出た。

表示	エラー表示の原因	処置のしかた
Er.00	本体が故障している可能性がある。 ※数字は0～11を表示。	オムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。
RH	体温計が約40°Cを超えると 10°C～40°Cの部屋に最低1分間は置いてから、検温してください。	体温計が約40°Cを超えるところに保管してあった。
RL	体温計が約10°C未満のところに保管してあった。	体温計が約10°C未満のところに保管してあった。
Err.3	予測検温中に温度上昇の分析・演算に障害が生じた。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。 そのまま測り続けて実測検温をおこなうか、一度収納ケースに入れて電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
--	体温計を正しくあてていない。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。 一度収納ケースに入れて電源を切り、30秒以上間隔をあけ、感温部を冷やしてから、測り直してください。

■ マークが点滅／点灯する

ここを確認する	処置のしかた
記録した測定値をある一定期間以上転送しないまま残していますか。	データ転送をしてください。 (参考)「スタートアップガイド」

- Bluetoothのワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、オムロンヘルスケア（株）は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhoneはApple Inc.の商標です。
- 体温計の感温部を、アルコールに浸したり、熱湯(50°Cを超える湯)で消毒しないでください。
- AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- アプリの仕様および本書に記載されている内容は、予告なしに変更することがあります。

おかしいな？と思ったら

データ転送ができない

ここを確認する	処置のしかた
強い磁力や電波の発生するものの近くでデータ転送している。	電波の影響を受けない場所で、もう一度データ転送をおこなってください。
表示部に「X」が点灯していないか。	新しい電池(CR2032)1個と交換してください。
1日に複数回測っている。	基礎体温として記録された測定値以外は転送されません。(「基礎体温を測る」手順③を参照してください)
Bluetooth通信がOFFになってしまっている。	ボタンを押して、再度機器登録を行ってください。
機器とスマートフォンの距離が離れていている。	間に障害物がないことを確認のうえ、スマートフォンを近づけてください。

仕様

販売名	オムロン婦人用電子体温計 MC-652LC
商品型式名	MC-652LC-PK / MC-652LC-BW / MC-652LC-W
医療機器認証番号	223AGBZX00261A01
類別	機械器具 16 体温計
一般的な名称	電子体温計
医療機器分類	管理医療機器
電源電圧	DC 3V (リチウム電池 CR2032×1個)
電池寿命	約9ヶ月* (室温23°C、1日1回/5分検温、1日1回データ転送をおこなった場合)
耐用期間	5年
感温部	サーミスタ
測定方式	予測・実測(ピークホールド方式)
体温表示	4桁+℃表示、0.01°Cごと
通信方式	Bluetooth® low energy
Bluetooth通信距離	約10m*
測定精度	±0.05°C (35.00～38.00°C)、±0.10°C (32.00～34.99°C, 38.01～42.00°C)
測定範囲	32.00～42.00°C
使用環境温度	周囲温度: +10～+40°C、相対湿度: 30～85%RH
保管環境温度	周囲温度: -20～+60°C、相対湿度: 10～95%RH
電気保護	内部電源機器 B形装着部 (フラット感温部・プローブ)
本体質量	約33g (収納ケース、電池含む)
外形寸法	39 (幅) × 103 (長さ) × 16 (厚さ) mm
付属品	● お試し用電池 (リチウム電池 CR2032×1個、内蔵) ● スタートアップガイド ● 取扱説明書 (本書:品質保証書付き) ● 医療機器添付文書・EMC技術資料

* 通信距離、電池寿命は、通信機器間の距離や障害物、電波状況、お使いの機器の使用状況などにより変化します。また、電波状況により通信が遮断される場合があります。

なぜ約10秒で測れるの？(予測検温のしくみ)

■ 体温とは…

体温とは、体深部の温度のことです。この体深部の温度を舌下で知るために温度変化のなくなった体温(平衡温)で測る必要があります。

※予測検温だけでなく、実測検温もできます。

医師の指示などで、より厳密な検温が必要な場合は実測検温してください。実測検温のしかたは、「実測検温をする場合」を参照してください。

■ 5分後の体温を約10秒で予測する

一般的に舌下で平衡温を測るには約5分間かかります。オムロンのMC-652LCは、検温開始から温度の上がりかたを分析・演算することにより、約10秒で約5分後の体温を予測することができます。

※予測検温だけではなく、実測検温もできます。

医師の指示などで、より厳密な検温が必要な場合は実測検温してください。実測検温のしかたは、「実測検温をする場合」を参照してください。

■ 基礎体温とは

基礎体温は、運動や飲食、強い精神的作用などがないとき(体が最も安静な状態のとき)の体温です。

体温の高さは個人差があります。

基礎体温は毎朝、目が覚めてすぐ起き上がる前に、寝たまま口の中で測ります。なるべく同じ時間に検温することをおすすめします。数ヶ月記録すると、自分の基礎体温曲線がわかります。

体温の高さは個人差があります。

■ 基礎体温の曲線

女性の体温は、病気や重いストレスがあるときなどを除けば、ほぼ0.3～0.5°Cの間で周期的に変化しています。月経が始まると体温が低くなり、月経終了後もしばらく体温が低い状態が続きます。これを低温期といいます。また、排卵日を境にして低温から高温になり、次の月経が始まる直前まで体温が高い状態が続きます。これを高温期といいます。

体温の高さは個人差があります。

低温期と高温期がはっきりしているのが正常な基礎体温です。

ただし、実際には一定で見つけられる線を描けるとは限りません。たとえば、前日の体調や睡眠、食事の内容などで基礎体温は微妙に変化することもあります。

体温の高さは個人差があります。

月経